

中部DX推進人材育成プラットフォーム

リカレント教育講座

ベーシックプログラム 講座案内

プログラム名	⑥ サイバーセキュリティ		
担当講師	合同会社Forehacks 佐々木 泰斗 氏		
講座の目的	工場等の制御システムが攻撃されるサイバーリスクを把握し、対策を講じることができる人材を育成する。		
受講対象者	重要インフラ事業者の情報システム担当者・現場責任者 OT/ITの両領域に関わるセキュリティ管理者 制御システムの設計・運用に携わる技術者 ICS/OT セキュリティに関心を持つ情報システム部門の担当者 制御システムや重要インフラのサイバーセキュリティに関心を持つ方		
学修到達目標	1. OTセキュリティとITセキュリティの違い、および最新のサイバー脅威動向を説明できる。 2. 代表的なフレームワークを知り、重要インフラ組織で求められるサイバーセキュリティの考え方を理解できる。 3. リスクベースアプローチの基本を理解する。		
オープンバッチ授与基準	全講義を受講した上で、理解度確認テストに合格すること		
講座概要	本講座では、工場や社会インフラを支える制御システムに特有のサイバーセキュリティ課題を学ぶ。 はじめに OT と IT のセキュリティの違いを整理し、最新の攻撃事例や脅威動向を理解する。 続いて、NIST CSF フレームワークと組織的なサイバーセキュリティの取り組みを学ぶ。 さらに、実際の攻撃シナリオをイメージし、インシデント対応演習の必要性を理解する。 最後に、安全とサイバーセキュリティ、それぞれのリスクベースアプローチを学び、リスクへの向き合い方をイメージできるようにする。		
内容		方法	内容
	1	オンデマンド	OTセキュリティとITセキュリティの違い、および最新動向
	2	オンデマンド	重要インフラのためのサイバーセキュリティ: CSF と組織的な取り組み
	3	オンデマンド	重要インフラのためのサイバーセキュリティ: 攻撃をイメージする
	4	オンデマンド	重要インフラのためのサイバーセキュリティ: インシデント対応演習
	5	オンデマンド	リスクベースアプローチ (安全とサイバーセキュリティ)
	6	オンデマンド	リスクベースアプローチ手順
テキスト・参考資料			